

物語り詩

定年は間近

「勤続四十年」

本所指導部 杉野栄治

みいけ育ちの炭鉱男
仲間が集まりやまの唄
雨にうたれて風に向かって
勝利の道を走るハタカゼ
赤旗先頭にスクラム組めば
ワッショイ ワッショイ
ワッショイ ワッショイ
かけ声強く波うつデモだ
こぶしは高く天をつく
歴史をつづる三十余年
暗い地底掘り出す炭に
働く仲間の血がにじむ
「合理化」と「保安」と
ひきまじられた二字の陰には
妻子を残し親を残して
多くの命が奪われてゆく
その時その時悲しみ乗り越え
怒り燃やした団結の
一つ一つの闘いが
やがて勝利の日を目指す
やまで燃やした自分の青春
新婚旅行もなかったが
はおすり寄せて育てた子らと
いのちと誓って守るため
今日も明日も共働きの
それでも笑えば白い歯が光る
手づくりの味も温かく

▼写真は職場新聞活動者会議から。上は問題提起の全員集会(第一日目)。下は分散会議の模様(第二日目)。会議参加者は、こうして熱心に経験を交流し、話し合った。



まず固めよう、編集体制

職場新聞 地道な活動の強化誓う

先ほど開かれた職場新聞活動者会議は、貴重な経験交流を積みあげた末、編集体制をさらに固め、がんばることを誓った。

※
事情があつて目下になつてい
た職場新聞活動者会議は、いよいよ
三月八・九日の両日平山温泉で
開かれた。
職場新聞活動家は、みいけ編集
委員も含め四山指導部六人、三川
活動は車の両輪の関係にあり、

交流時間が足らん

次からはもっと……の声

職場新聞活動者会議は、どんな
ことを交流し話し合ったか。これ
は一つの分岐点の抜す。
報告されたことの一部
——四山の、きずなな編集体
制は、分金三役で構成している。
その関係から、職場大衆のナマの
声が記事になり、どうしても三
役の聞き書きになり、それだけに

も上司からいわれなくとも、自分
でできることは自発的に率先して
やっていたらいいと思つています。
また、最後に次のように座談会を
しめくつています——
「職場においては、先輩の方々
ばかりですから、上司の指示を守
り、社内規則を十分守って、事
故や災害がないよう、そして一日
も早く先輩に追いつき追いつく
気持で作業に当り……頑張っ
て下さい」
——整理整頓、規律の厳守、
規律正しい態度、簡潔な報告の方
法など学ぶことばかりで、職場に
生かしたいと思つています。
そして、ある人は「大変勉強に
なりました。入隊してよかったと
思つています」といい、司会者も
「職場においては、先輩の方々
ばかりですから、上司の指示を守
り、社内規則を十分守って、事
故や災害がないよう、そして一日
も早く先輩に追いつき追いつく
気持で作業に当り……頑張っ
て下さい」
——整理整頓、規律の厳守、
規律正しい態度、簡潔な報告の方
法など学ぶことばかりで、職場に
生かしたいと思つています。
そして、ある人は「大変勉強に
なりました。入隊してよかったと
思つています」といい、司会者も

自衛隊で従業員教育

港務所が青年労働者を

「三池みなと新聞」(三池港務
所)昨年十月五日発行の第二〇二
号(三池港務所に働く一部署
年労働者の自衛隊入隊の体験、を
語る座談会記事)をのせていた。自
衛隊入隊は、以前から港務所が従
業員教育の一つとして行つてきて
いるものだが、生産性向上運動に
役立てるねらいから進んでいる。

これが体験座談会

記事によれば、九月三日から六
日、十一人の港務所の青年労働
ける任務の自覚、規律の厳守、責
任の遂行など、貴重な体験を体得
をつけた。また、職場において

した(同記事の二節)よしであ
る。
港務所は、青年労働者を自衛隊
に入隊させて訓練を行なう教育方
法がよほど気に入つたものとみ
え、九月六日福祉センターで、体
験を語る座談会を開催した。十一
人の青年労働者は司会者の、「自
衛隊で体験したこと、今後の職
場での生活に生かして行こうと
考えておられますか」との問いに
次のようにこたへている。
——日常生活の中で、自分のこ
とは自分でやて行くという習慣
をつけた。また、職場において

後には省略するが、「とにかく交
流時間が足らんじやった。この次
からは、もっと時間をとってほし
い」との声がしきりだった。

※
三川の「あけぼの」だが、
ほんとうのことを書けない悩みが
ある。書くことすると、「せつ々
しくまとまっている職場に、波風を
立ててくれ」といわれる。こん
なときどうすべきか。

※
港務所の「みちお」。中絶
中絶で、たとえ編集会議をやつて
も、いろんな事情で集まりが少い
し、記事もあつてこない。
——三川の「あけぼの」だが、
ほんとうのことを書けない悩みが
ある。書くことすると、「せつ々
しくまとまっている職場に、波風を
立ててくれ」といわれる。こん
なときどうすべきか。

※
後には省略するが、「とにかく交
流時間が足らんじやった。この次
からは、もっと時間をとってほし
い」との声がしきりだった。